

キラリ★ひと言



「自然」と「人」 を大切に

大野町田中
原野帝子

毎日欠かさないウォーキングコースの途中にある溜池に水鳥の姿を見かけました。水に潜っては浮かび上がる様にうつとりと見とれてしまいます。

快い気分での帰り道、こんな田舎の道端にも弁当のプラスチック、ジュースの缶、タバコのポイ捨て、山中には家電の投げ捨てなど自然を冒瀆する嫌なことが沢山。

豊かな自然に感謝し乍ら、一人でも多くの人に環境整備への気を配っていただきたいものです。自然に目を向ければ「人」とのふれあいにも変化が生まれます。高齢化社会の中で、生き甲斐として「自然」と「人」を大切に。

いろいろな植生物が連鎖して頑張って生きていることを自覚しながら・・・。

私たち人間も一人で生きているのではなく、社会の中で手を繋ぎ合っているのですから。

出会い

千歳町新殿
みや なり もと はる
宮成基治



高校を卒業して東京の学校へ進学。それから地元に帰ってバラ作りを始めた。1年目は、本当に大変な仕事だと痛感した。それと同時に寂しさを感じた。農家という仕事は孤独がつきものなのだと。

そんな時出会ったのが、農業後継者の人たちが集まる「ざっくばらんな会」という組織である。そこでは、同じ農業という仕事をしている人たちと将来のことや問題点などいろいろなことを熱く話すことができ、仕事をする中で大きな力となる。今まで、寂しい仕事と思っていたが、今では場所は違っても仲間がいると思っている。

また、その組織に入ってから「少年の船」にも乗ることができた。いろいろな人と出会うことができ、たくさんのこと学ぶことができた。それからボランティア活動にも参加するようになった。

この仕事を始めて、行動することの大切さ、出会いの大切さを知った。これから自分のためにも、出会いを求めていきたいと思う。



▲丹精込めたバラが咲きました